

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2021. 10. 27

No. 658

2021年 年末手当要求 収入動向

10月27日、本部は収入動向の交渉を行いました。以下、報告します。

「営業部より・2021年9月分輸送動向について」

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷に加えて、大雨に伴う山陽線不通影響等を受け、エコ関連物資を除く全ての品目で計画を下回った。特に、食料工業品や積合せ貨物は九州地区発着貨物を中心に減収となったほか、自動車部品は半導体不足による各社生産調整の影響を受け減収となった。結果、コンテナ全体では計画比88,2%となった。車扱は、石油需要の低迷は続いたものの、セメント・石灰石等が計画を上回り、車扱全体では計画比101,9%となった。コンテナ・車扱合計では、計画比89,4%となった。

「対計画△1217百万円（89,4%）」

・コンテナ

食料工業品は、需要減に加え九州発着を中心に災害影響を受け△240百万円となったほか、積合せ貨物は、関東⇄九州間を中心に減収となり△229百万円となった。自動車部品は、半導体不足による各社生産調整の影響を受け、△190百万円となった。コンテナ全体では、対計画△1236百万円（88,2%）となった。

・車扱

車扱は、石油需要の低迷は続いたものの、セメント・石灰石等が計画を上回った。

車扱全体では、対計画+19百万円（101,9%）となった。

「営業部より・2021年上半期について」

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷に加えて、大雨に伴う山陽線不通影響等を受け、全ての品目で計画を下回った。特に、積合せ貨物は災害影響により関東⇄九州間を中心に減収となったほか、食料工業品は需要減に加えて九州発着を中心に災害影響を受け低調に推移した。また、農産品・青果物は、需要低迷に加えて北海道地区の夏季干ばつに伴う作柄不良の影響を受けた。結果、コンテナ全体では、計画比93,2%となった。

車扱は、コロナ禍に伴う外出自粛及び災害影響により石油が減収となり、車扱全体では、計画比99,5%となった。コンテナ・車扱の合計では、計画比93,8%となった。

災害減収：コンテナ2741百万円、車扱27百万円、計2768百万円

「対計画△3781百万円（93,8%）」

・コンテナ

積合せ貨物は、災害影響を受け関東⇄九州間を中心に減収となり△885百万円となったほか、食料工業品は、需要減に加え九州発着を中心に災害影響を受け△636百万円となった。農産品・青果物は、北海道地区夏季干ばつに伴う作柄不良により△357百万円となった。コンテナ全体では、対計画△3751百万円（93,2%）となった。

・車扱

車扱は、コロナ禍に伴う外出自粛及び災害影響により石油が減収となった。車扱全体では、対計画△30百万円（99,5%）となった。

「営業部」

組合・新型コロナウイルス感染症拡大が大幅に収束しているが、まだまだ油断は出来ない。収入確保のため営業部が取り組んでいることを具体的に教えて頂きたい。

会社・10月1日に緊急事態宣言が解除となり、これまでリモートでの営業活動だったものが、対面での営業活動を可能とするお客様が増えてきており、精力的に営業活動を展開したい。また、環境面を意識してホワイト物流企業への営業活動や、これまで延期となっていたトライアル輸送等についても実施し、きめ細かな営業活動を行っていく。

組合・2021年度事業計画経常収支87億から、10月計画改定で23億円としたが、10月以降も相当厳しい状況が続くと予想しての数値か。

会社・10月に緊急事態宣言も解除となり、国内のワクチン接種も進んできている。今後、外食産業を中心に回復してくることを想定している。懸念材料もあるが様々な要素を精査した数値である。

組合・グループ会社の状況はどうか。

会社・現在精査中である。

組合・輸送動向9月分を見ると自動車部品がかなり落ち込んでいる。この影響は長引きそうか。

会社・現在、情報収集を行っているところである。

-
- 組合・燃料費が高騰しているが、影響は出ているのか。
- 会社・石油については全体的に需要の低迷が続いている。今年度は春先の気温が高かったことと、外出自粛による要因が大きいとみている。
- 組合・大雨被害で中央西線が不通となり、東海道線経由でタンク列車輸送を行ったが、危機管理として、定期的に東海道線経由でタンク列車を運行するのはどうか。これは、全国の路線においても言えることだが。
- 会社・現時点で定期的に東海道線経由でのタンク列車の運行は考えていないが、災害等の危機管理としては全国的に様々なシミュレーションを行っている。
- 組合・2021年度事業計画では人件費425億であったが、10月計画改定では435億と10億も上がっている。災害等での超勤が多くを占めると思うが、人事制度も絡んでいるのか。
- 会社・主な理由としては災害超勤となる。
- 組合・東京レールゲートWESTの状況はどうか。また、東京レールゲートEASTは予定通り、2022年度完成に向け進んでいるのか。コロナより完成予定時期の延期等はあるのか。
- 会社・東京レールゲートWESTは既に満床契約となっており順調といえる。東京レールゲートEASTも2022年度完成に向け特に問題なく進んでいる。
- 組合・今後、輸送障害が起きやすい冬期に入っていくが、私達は安全安定輸送に努めていく。厳しい状況であることは十分認識しているが、営業部として頑張ってもらって頂き、この難局を打破して頂きたい。
- 会社・承知した。引き続きご協力をお願いする。

「ここからは、人事部」

- 組合・会社の状況は厳しいと理解するが、組合員は昼夜を問わず懸命に安全安定輸送を遂行している。期末手当においては、会社の業績が好調な年度においても低調な結果に終わった経緯もあり、また、人事制度においても不安や不信感を抱き、会社に対して相当の不満が溜まっている。2023中期経営計画を達成するためには、組合員の協力が不可欠なことは重々承知していると思うが、この難局を労使が一体となって打破し、JR貨物グループが成長・発展していくためにも、今回の交渉（会社の考え）では、誠意ある考えを強く求める。
- 会社・貴組合の主張を受け止め、引き続き社内で議論して行く。

以上